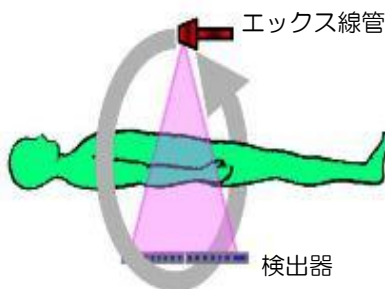


CT検査

CTとはComputed Tomographyの略で「コンピュータを用いた断層撮影」という意味です。

エックス線写真では、重なりあっている画像のため、病変が正常組織の影に隠れてしまうことがあります。

しかしその部位をCTで撮影すると、影に隠れていた病変の具体的な位置（奥行き）や大きさなどを細かく観察することができます。



エックス線を回転しながら照射し、対向する検出器で読み取ります。

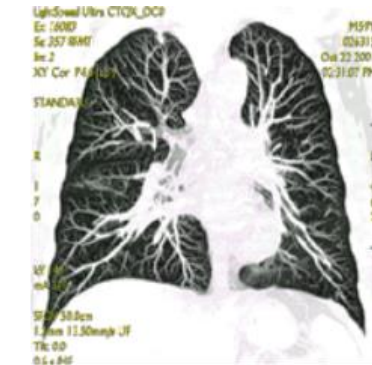
その信号をコンピュータで再計算して画像にしています。

以前は輪切りの画像が主流でしたが近年、技術力の向上により輪切りの情報を基に、縦切り画像や立体(3D)画像の作成も容易になりました。

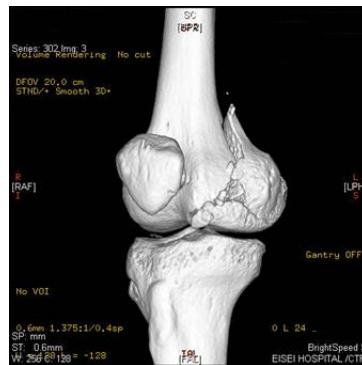
検査画像



頭部横断画像



胸部前額断画像



膝立体(3D)画像



手の骨と腱の立体(3D)画像

検査時間と造影検査について

単純検査なら10分程度、造影検査なら30分程度で終わります。

造影検査とは、血管内にCTで写りやすい薬（造影剤）を流して撮影する検査です。

単純検査だけではわからない、より詳しい病変の情報を得ることができます。

造影検査を受けられる方で

- ・ 喘息のある方
- ・ アレルギーがある方
- ・ 腎機能が低下している方
- ・ 心疾患のある方
- ・ 以前、造影検査で異常のあった方

は検査を受けられない場合があります。

検査費用

3割負担の場合の窓口お支払金額は単純CT検査が約4,500円です。

造影CT検査の場合約8,000円になります。

※検査にあたり、ご不明な点やわからないことがありましたら放射線科スタッフにお尋ね下さい。

